大阪

地域面3ページ

おおさか支局
〒530-8251（住所不要）
毎日新聞社会部おおさか支局
TEL06・6346・8443
FAX06・6346・8444
メールはat-osaka@mainichi.co.jp
読者の皆さんの取り上げてほしいテーマなど、お寄せください。
【購読お申し込み】
フリーダイヤル0120-468012

作品紹介

第61回青少年読書感想文コンクール 大阪市入賞

中学校の部 市長賞

蓮の花がつなぐ心と心

大阪市立墨江丘中1年 平田みうさん

本を閉じた後も、古代蓮の紅色、蓮の実ごはんのにおい、トンボ柄のゆかたの手触り、山ぶどうのすっぱい味が私の心をとらえていた。もう少し本の世界にいて登場人物の温かさを感じていたいとも思った。

古代蓮の抱きかかえてきた、さまざまな想いを、ひとつひとつ受け止めながら、莉子は同年代の若者として、子供時代の祖父やおばたちの気持ちに触れていく。私の祖父にも、自分と同じ中学生時代があり、きっと同じように悩み、その祖父にもまた、父や母がいたのだという当たり前の現実に思い至った。そして、その連続する人々の営みの流れの中に私が存在しているのだと改めて気づかされた。

莉子の祖父は、愛情深く勇気のある男の子であり、莉子もまた、芯の強い思いやりのある女の子である。祖父と莉子の、不器用ながらもどこか温かい、似通った部分を感じることができた。

莉子の祖父が美しい古代蓮を発見し、絵に描いたことにより、蓮や山ぶどうなどのいっぱいの自然が荒らされてしまった。たった一枚の絵が、美しい沼や秘密の抜け道を無残な姿に変えてしまったことに、そして、莉子の祖父が感じたであろう世間に対する恐怖や無力感を想像して私は胸が苦しくなった。

彼は先生に打ち明ける時、家族や友人らから「うそつき」呼ばわりされる覚悟ができていただろうか。きっと、想像はできていただろうけれど、やはり、現実はもっとつらく、残酷であったに違いない。莉子の祖父の自然に対する愛情は強く、自然破壊を食い止めるために勇気を振りしぼった。自然を美しいと思うだけでは守れないのだ。だから、祖父はとても心の強い人だと思う。周囲からの「信用」を犠牲にして守った古代蓮は、翌年から紅い花をつけなくなり、孤独になった祖父にとって、突然現れた莉子による古代蓮の肯定は、大きな救いであったと思う。手渡された蓮の種子は未来への希望の種であった。

莉子にとっても、言葉は少ないけれど、母を失った寂しさや、新しい母親への戸惑いを、黙って理解してくれている祖父は大きな心の支えであったはずだ。秘密の沼からの帰り道、莉子の見つめる祖父の背中には、莉子への深い愛情の他に、娘を亡くした父親の寂しさや、やるせない気持ちもにじんでいたと思う。言葉はないけれど、同じ寂しさを抱える二人の心の通い合いが、揺れるちょうちんの光の中に見えた気がした。

最後の朝、蓮の花が伝えた祖父の想いは、「感謝」だと思う。莉子があげた種を使って幼い日に失った古代蓮の花をもう一度咲かせることができた。「そのうち花を増やして何倍にもして返しちゃる」。これが、祖父と莉子の約束だった。過去と未来をつなぐ約束。もしも、祖父が自分勝手な人だったのなら、あの広縁には燃えるような紅色の蓮など咲いていなかったと思う。祖父の、周囲の人達や自然に対する愛情を受けて、蓮は、大きく花開いたのだと思う。人との関わりの中、思いやりのある言葉や、少しの勇気とたった一つの行動で本当に始めは少し居心地悪くさえ感じた。いつもの私なら何となくみじめな気持ちになって途中で読むのを止めていたかもしれない。しかし読みすすみ、時代をさかのぼるにつれ、莉子や祖父、ふみちゃんやゆきちゃんの心の奥に隠してあった感情が、どんどんほどけてきて目が離せなくなった。登場人物はそれぞれに色々な事情を抱えていたけれど、みんな素敵いろんなものが変わってくるのだと深く考えさせられた。

この本と出会うまでの私は、「少しくらい周りの人を傷つけたっていいのではないか。逆に私が周りの人に傷つけられることだってあるのだから」と考えていた。けれど、莉子や祖父のような思いやりのある人々にこの本を通して出会い、こういう風に物事を考えることしかできない自分を恥ずかしく思った。物語の登場人物はいい人ばかりなので、読みで優しい人たちだった。けれど、今までのように悔しくはならなかった。逆に、私も強くて優しい人になりたいと思った。

莉子の祖父から学んだことがある。たった一つの行動が大切な物を壊してしまうかもしれないこと。同時に、勇気を出せば大切な物を守ることができるということ。私という存在は、長くつながる血脈の一部であり、家族の愛情をもらって生かされているということ。そして、一つ一つの行動が積み重なって未来ができるということ。

家が売られ、蓮の池が埋められてしまっても、蓮の種と共に家族の愛情は引き継がれていくだろう。私も、私につながる全ての人々を大切にしたい。祖父母と会って、子供時代の風景、子供の頃に抱いていた夢、私の両親の子供時代のことをたくさん話したい。私と大切な人々をつなぐ、蓮の種を探しながら、一歩ずつ歩いて、私の未来を創っていこうと思う。

（「夏の朝」本田昌子／福音館書店）

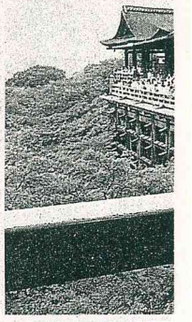
星の占い

マーク・矢崎 19日

★牡羊座（3・21～4・19）ラ
が強いとき。勝ち負けにこだわ
★牡牛座（4・20～5・20）真心
りが伝わるとき。恋はマメさが
★双子座（5・21～6・21）不
とき。悪い予感ほどよく当たり
★蟹　座（6・22～7・22）マ
アに幸運あり。インターネット

日本での

漆黒を照らす



日本での難民
たイラク人の

いま彼は、町から離れ

たまもと・えいこ　1966年生まれ。アジアプレス大阪所属。2001年からイラクに通い、内戦下のシリアも取材している。

情報プラザ

★冬季特別展「歴史発掘おおさか2015～府発掘調査最新情報～」23日（土）～3月21日（月・休）10～17時、河南町東山の府立近つ飛鳥博物館。縄文時代から近世まで、府内各地の埋蔵文化財の最新情報。さまざまな地域の遺跡や城跡で出土した資料を展示するほか、調査成果報告会や講演会を開催。観覧料600円。65歳以上・高大生400円。中学生以下・障害者無料。月曜休館。問い合わせは近つ飛鳥博物館（0721・93・8321）。

★オール阪神トークショー「私の道」＆バザー　2月4日（木）、岸和田市港緑町1の市立浪切ホール。漫才師、オール阪神さんのトークショーは13時半からで入場料2000円。食品などのバザーは10時～15時半で入場無料。国際ソロプチミスト岸和田チャリティー事業特別委員会委員長の西田豊子さん（090・4309・8890）。

柚希礼音 REON JACK
宝塚退団後初のソロコンサート
共演　陽月華　音花ゆり　鶴美舞夕　他
3.11(金)～3.17(木) 梅田芸術劇場メインホール
S席10,000円 A席7,500円 B席5,500円（全席指定/税込）※未就学児童入場不可

3月	11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)
12:00		●	●	休演			
13:30					●	●	●
15:00	●						
16:30		●	●				
18:30					★	●	

一般発売 2月6日(土)10:00～
※一般発売初日は特別電話0570-02-9540（10:00～18:00）にて受付。
★アフタートークショー
先着順先行受付中!
期間 1/19(火)5:30～21(木)23:59
特電 0570-02-9540
※1度のお申込みにつきお1人様4枚まで。
チケットぴあ

「あべのハルカス」から徒歩すぐ

地下鉄天王寺駅14号出口直結
近鉄大阪阿部野橋駅、各線天王寺駅す
Pあり（有料鑑賞で4時間無料）